申請ヒアリングシート

＜申請者＞

●飛行申請者（個人又は法人）

氏名・名称	
住所・所在地	
電話番号	
連絡用メールアドレス	
緊急　携帯電話	

●飛行監督責任者　　（上記飛行申請者と同じ場合は省略可）

氏名	
所属（会社など）	

●過去に国土交通省の許可又は承認を受けたことが

□ない

□ある（ある場合は、下の欄に前回との変更点を記載）

＜飛行内容＞

●飛行目的1　　メインとなる目的

●飛行目的2　（考えられるもの全てにチェック）（趣味の場合は、飛行エリアを特定する必要あり）

□空撮　□趣味　□報道取材

□警備　□測量　□設備メンテナンス

□環境調査　□資材管理　□インフラ点検・保守

□自然観測　□輸送・宅配　□事故・災害対応等

□農林水産業　□その他（　　）

●飛行日時　（1年間で申請すると、3カ月ごとに飛行実績報告が必要となります。）

□　包括申請　（　飛行許可を得られて日から1年間　）

□　包括申請以外　（　平成　　年　　月　　日～平成　　年　　月　　日　）

（3カ月の幅のある記載でかまいません。）

●飛行エリア　（特定されている方が通りやすいですが、希望を書いてください。）

ex. 新潟市西区メイワサンピア構内。新潟県内全域。日本全国など。

※趣味目的のみで、飛行エリアを特定しない申請は困難です。

●飛行禁止空域を飛ばす予定　（予定しているもの全てにチェック）

□空港付近 （空港等名称:　　）

（進入表面、転移表面若しくは水平表面又は延長進入表面、円錐表面若しくは外側水平表面の上空の空域）

□地表又は水面から150m以上の高さの空域

□人又は家屋の密集している地域の上空

※空港付近又は150m以上の高さの申請は、
関係機関との調整などが必要となってくる場合があります。

上記の空域を飛ばす理由

●承認が必要となる飛行方法で飛ばす予定 （予定しているもの全てにチェック）

□夜間飛行　　□目視外飛行

□人又は物件から30m以上の距離が確保できない飛行

□催し場所上空の飛行　□危険物の輸送　□物件投下

※「物件」とは、樹木以外の電柱や自動車、橋などを含みます。
※「物件投下」には、目安として5回程度の経験を必要とします。
※「目視外飛行」の承認には、1時間以上の練習（屋内など）が必要です。
申請の際に、目視外練習を室内等で行うことを条件に申請することも可能ですが、練習場所の特定が必要となります。

上記の方法で飛ばす理由

●加入している保険

□対人　□対物	
保険会社名	
商品名	
補償金額	【対人】　　円　【対物】　　円

●飛行させるドロー:（許認可の対象とする機体を全て挙げてください。）

☐ DJI製品である。　　☐ DJI製品以外である。
☐ 改造していない。　　☐ 改造している。

機種名	例　PHNTOM4 Pro
製造番号	例　07DDD3POB10124

機種名	
製造番号	

機種名	
製造番号	

機種名	
製造番号	

※原則、製造番号は、ファントム4の場合、バッテリーを外したところに記載されています。
※機体をロストした場合などに備えて、製造番号に代えて、自前で配分した管理番号を使うこともできます。ロストした場合、通常は新たなに許可を取り直さなければなりませんが、自前で管理番号を使う場合、機体が変わっても（機種は同じものでなければなりません）、同じ管理番号を付け替えて飛ばすことが可能と言われています。管理のため管理番号をシールなどで機体に貼ることが必要です。

●操縦者一覧

	氏名	住所	飛行させることができる機種	備考
1				総飛行時間: 夜間飛行時間: 目視外飛行時間: 物件投下経験:　回
2				総飛行時間: 夜間飛行時間: 目視外飛行時間: 物件投下経験:　回
3				総飛行時間: 夜間飛行時間: 目視外飛行時間: 物件投下経験:　回
4				
例	鈴木　太郎	東京都新宿区○●3－1－1 （原則　個人の住所をお書きください）	Inspire1 Phantom2 Phantom4 Pro	総飛行時間:　30時間 夜間飛行時間:　0時間 目視外飛行時間:1時間 物件投下経験:　0　回